

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

「あるものいかし」の視点による観光資源の魅力向上・発信プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

湖南省

3 地域再生計画の区域

湖南省の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

本市には、豊かな自然、美しい景観、障がい者等の芸術といった観光資源があるが、それぞれの観光資源がばらばらに存在し、ネットワーク化した効果的な情報発信ができていない。このため、周辺市町と比べて観光入込者数が少なく滞在時間が短いこと、また、RESASの分析に基づく経済の地域循環の視点からみると市の中心産業である第2次産業で稼いだ「外貨」が観光・サービス等の第3次産業で市外に流出していることが課題である。

4-2 地方創生として目指す将来像

都市近郊のほっとできる観光地として、本市の豊かな自然、美しい景観、障がい者等の芸術といった観光資源の魅力を高め、アプリや動画を活用して点在する観光資源をネットワーク化して効果的に発信することにより、近隣地域からの誘客を図るとともに観光客の回遊性を高めることで観光消費を増加させる。また、拠点整備交付金を活用する十二坊温泉ゆららの整備（ハード事業）とアプリ等を活用した誘客の仕掛けや地域の特産品の販売促進策（ソフト事業）を連携させることにより、市内での観光消費や飲食・特産品等の消費を増加させ、観光を中心とした第3次産業の活性化を図る。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
湖南省観光入込客数(暦年)(人) ※拠点整備交付金	478,700 (H27年)	-28,700	0	40,000
湖南省観光入込客数(暦年)(人) ※推進交付金	536,100 (H28年)		43,900	60,000
湖南省観光消費額(直接分)(千円)	1,050,842 (H28年)		96,083	42,295
観光・地域情報アプリダウンロード数(件)	0 (H28年)		500	500
十二坊温泉ゆらら利用客(人)	147,000 (H27年度)	3,000	-10,000	20,000
十二坊温泉ゆらら売上総額(千円)	109,000 (H27年度)	3,000	-17,000	24,000

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
湖南省観光入込客数(暦年)(人) ※拠点整備交付金	10,000	10,000	31,300
湖南省観光入込客数(暦年)(人) ※推進交付金	60,000		163,900
湖南省観光消費額(直接分)(千円)	28,110	14,275	180,763

観光・地域情報アプリダウンロード数（件）	600	600	2,200
十二坊温泉ゆらら利用客（人）	10,000	5,000	28,000
十二坊温泉ゆらら売上総額（千円）	8,000	3,000	21,000

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

本市の観光入込客の3分の1を占める十二坊温泉ゆららを地域の観光・情報発信拠点として、体験施設の整備を含めた施設の魅力アップや情報発信機能の拡充などの整備を行う。また、都市近郊のほっとできる観光地として、十二坊温泉ゆららの整備（ハード事業）と連携して、本市の豊かな自然、美しい景観、障がい者等の芸術といった観光資源の魅力を高め、効果的に発信するソフト事業を実施することにより、観光客の数・滞在時間・消費を増加させる。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

（1）地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

湖南省

② 事業の名称：

都市近郊のほっとするホットな観光地・こなん

③ 事業の内容

都市近郊のほっとできる観光地として、拠点整備交付金を活用した十二坊温泉ゆららの整備と連携し、本市の豊かな自然、美しい景観、障がい者等の芸術といった観光資源の魅力を高め、効果的に発信するため以下の事業を実施する。

（1）観光資源の魅力向上

拠点整備交付金を活用した十二坊温泉ゆららの整備と連携し、都市近郊で手軽に自然に親しんでもらえるハイキング、湖南三山めぐり関連事業（広告・宣伝および市内中高生のおもてなし隊によるガイド）、市内の

福祉施設等で創り出されるアールブリュット作品のカフェや温泉ゆらら等での展示といったソフト事業を展開することにより、観光客の誘客および滞在時間延長につなげる。また、本市にゆかりのある猿飛佐助・三雲城址に関連したPR活動・特産品販売促進を行うほか、ARアプリを活用して、三雲城址・旧東海道・アールブリュット・湖南三山等に対し、昔の風景や異なる季節の風景の再現、観光資源の背景の説明、ゲーム性を持たせる（例：電子スタンプラリー）等の工夫を加えることにより、観光客の回遊性を高め観光消費の増加につなげる。

（2）市の魅力・観光情報の発信

動画を活用したシティプロモーションや観光情報の発信を通じて観光客の誘客を図るとともに、観光・地域情報アプリで市内に点在する観光資源を一元化・ネットワーク化し、本市の中心産業である製造業に関連した工場見学を含む観光ルートの提案を行うことにより、観光客の数・滞在時間・消費の増加につなげる。さらに、観光・地域情報アプリでは、近くを通過する観光客へのプッシュ型通知により、市の施設の十二坊温泉ゆららや農産物等直売施設「ここぴあ」、市内の観光地や飲食店等のおすすめ情報や季節の情報を発信することにより、観光客を消費に誘導する仕掛けを構築する。マーケットの大きい首都圏からの誘客については、29年度に首都圏情報発信拠点を整備する県と連携した観光キャンペーンを実施する。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

本事業は、立ち上げ期には行政による支援が必要であるが、将来的には本事業の成果を市の観光拠点である十二坊温泉ゆらら等の収入増加につなげていくことにより、観光事業全体としての自立を図る。（温泉ゆららの売上総額は、事業終了翌年度の平成32年度までに2,100万円の増加（1億900万円→1億3,000万円）を見込んでおり、温泉ゆららの利益増加分を観光事業に充てることが可能となる。）

また、市が実施するシティプロモーション事業については、ホームページ・広報誌での広告収入をさらに伸ばすよう努めるほか、観光・地域情報アプリ事業については、アプリの普及状況を踏まえ、掲載飲食店からの掲載料を徴収することを目指す。猿飛佐助実行委員会が実施する事業については、猿飛佐助に関連した特産品販売促進による収入増を目指す。

【官民協働】

NPOである猿飛佐助実行委員会が、観光協会・民間事業者・市民と連携して、ARアプリの開発・コンテンツ充実や本市にゆかりのある猿飛佐助・三雲城址のPR活動、関連する特産品販売促進を実施する。観光協会が主体となって実施するハイキング関連事業や湖南三山めぐりの実施にあたっては、民間事業者・市民・NPOを含む多様な主体と連携し、地域の観光経営の視点を取り入れて事業を進めていく。

【政策間連携】

観光・地域情報アプリを中心とした情報発信では、農産物等直売施設「ここぴあ」や飲食店等の情報発信を行うほか、地域の特産品の販売促進策を通じて、観光だけでなく農業や商工業を含めた地域経済の好循環につなげていく。また、市内の観光資源の魅力を高め市外のみならず市民に向けて発信することを通じて、市民の郷土への誇りや愛着の醸成につなげ、定住・移住（Uターン）を促進する。

【地域間連携】

本事業は、滋賀県が地方創生推進交付金を活用して実施する「T H E 近江魅力満載プロジェクト」の一環として、県の観光政策と連携し、風光明媚な自然、美しい景観、奥深い歴史文化に育まれた文化財を有する観光地「滋賀」の魅力アップ・情報発信を行う。また、滋賀県が29年度に実施する首都圏情報発信拠点の整備と連携して、観光キャンペーンを実施する。

周辺市町との連携については、周辺3市町の観光協会が連携して名神高速と新名神高速を結ぶ「こにゃん街道」の観光情報の発信・誘客の取組みを行っており、連携により街道全体の魅力向上が図られる。

【その他の先導性】

観光・地域情報アプリは、市民の一元化された効果的な観光情報へのニーズを踏まえたものであり、市の施設の十二坊温泉ゆららや農産物等直売施設「ここぴあ」、市内の観光地や飲食店等の消費に観光客を誘導することにより、観光事業の自立や地域の平均所得向上に資する仕掛けとした点に新規性がある。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 (1年目)	平成30年度 (2年目)	平成31年度 (3年目)
湖南省観光消費額 (直接分) (千円)	1,050,842 (H28年)	96,083	42,295	28,110
湖南省観光入込客数 (暦年) (人)	536,100 (H28年)	43,900	60,000	60,000
観光・地域情報アプリ ダウンロード数 (件)	0 (H28年)	500	500	600

	KPI増加分の 累計
湖南省観光消費額 (直接分) (千円)	166,488
湖南省観光入込客数 (暦年) (人)	163,900
観光・地域情報アプリ ダウンロード数 (件)	1,600

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

毎年度、3月末時点の KPI の達成状況を地域創生推進課において数字を取りまとめ「湖南省戦略茶話会」において数値目標を基に事業の効果を検証する。

【外部組織の参画者】

産・学・官・金・労・言のメンバーで構成される「湖南省戦略茶話会」において検証する。

(メンバー予定) 湖南省工業会・湖南省商工会・学識経験者(滋賀大学)・金融機関(滋賀銀行)・労働団体(連合滋賀)・メディア(びわ湖放送)・市内農業者・市内事業者・地域おこし協力隊員

【検証結果の公表の方法】

湖南省ホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

・第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 34,004千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日(3ヵ年度)

⑨ その他必要な事項

特になし

(2) 地方創生拠点整備交付金(内閣府):【A3007】

① 事業主体

湖南省

② 事業の名称: 地域の核となる観光・情報発信拠点整備事業(温泉ゆらら活性化プロジェクト事業)

③ 事業の内容

癒しの体験施設として岩盤やアロマなどを使った岩盤浴施設を整備するとともに、本市の伝統工芸品である近江下田焼の作陶や絵付け体験などができる体験工房の館を整備する。併せて、地域の特産品を販売するこなんマルシェを拡充し、地域の観光・情報発信拠点としての機能の充実に努める。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

本事業による地域の観光・情報発信拠点としての機能強化に加え、周辺市町と連携した誘客やゆららを起点とするハイキング企画などのソフト事業と連携することにより、ゆららの観光客の数・滞在時間を増加させる。これにより、新施設の利用料を含めた施設利用料や特産品販売等のゆららの収入増につなげる。

【官民協働】

これまでもゆららは指定管理者（一般社団法人観光協会）の創意工夫により、オートキャンプ場を設置することにより、収入を増加させることに成功してきた。本事業で整備した施設の運営にあたっては、指定管理者が民間事業者を含む多様な主体と連携し、地域の観光経営の視点を取り入れつつ、周辺の観光資源と一体になった観光客の誘客や地域の特産品の販売促進等の取組みを進めていく。

また、市民と協働したハイキングコース整備や観光客のおもてなし事業を展開することにより、整備された施設の活用を図る。

【政策間連携】

特産品売り場であるこなんマルシェの拡充や地元料理を提供する館内のレストランで地元の農産品を提供することが、現在力を入れている農業のPRや販路拡大につながる。また、伝統工芸・ものづくり等の体験が可能になることが、商工業振興につながる。このように、本事業の実施を観光だけでなく農業や商工業を含めた経済の地域循環につなげていくことが可能である。

さらに、点在する市内の観光資源の魅力向上策とあわせて十二坊温泉ゆららの魅力を高め、市外のみならず市民に向けて発信することを通じて、市民によるふるさとの魅力の再発見や愛着と誇りの醸成につなげることにより定住を促進する。

【地域間連携】

本事業は、滋賀県の「THE近江魅力満載プロジェクト」の一環として、県の観光政策と連携し、風光明媚な自然、美しい景観を有する観光地「滋賀」の魅力アップ・情報発信を行う。

十二坊温泉ゆららは、周辺3市町の観光協会が展開する名神高速と新名神高速を結ぶ「こにゃん街道」のほぼ中央に位置する観光拠点であり、本事業による情報発信力の強化により、街道全体の魅力向上が図られる。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
湖南省観光入込客数(暦年)(人)	478,700 (H27年)	-28,700	0	40,000
十二坊温泉ゆらら利用客(人)	147,000 (H27年度)	3,000	-10,000	20,000
十二坊温泉ゆらら売上総額(千円)	109,000 (H27年度)	3,000	-17,000	24,000

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
湖南省観光入込客数(暦年)(人)	10,000	10,000	31,300
十二坊温泉ゆらら利用客(人)	10,000	5,000	28,000
十二坊温泉ゆらら売上総額(千円)	8,000	3,000	21,000

⑥ 評価の方法、時期及び体制

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を地域創生推進課が取りまとめ、産・官・学・金・労・言のメンバーで構成される湖南省戦略茶話会において数値目標を基に事業の効果を検証するとともに、議会の関与も得ながら、必要に応じて湖南省総合戦略や今後の事業運営に反映させる。検証結果はホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

①第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 120,000千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日（5ヵ年度）

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 地域観光資源活用事業

事業概要：拠点整備交付金で整備された施設等を活用し、湖南三山めぐり、ハイキング、伝統工芸体験などのソフト事業を展開することにより、観光客の誘客および滞在時間延長を図る。また、伝統野菜を活用したイベントの実施により、観光消費額の増加を図る。

実施主体：湖南省観光協会

事業期間：平成32年度

(2) ふるさとづくり観光振興事業

事業概要：猿飛佐助ゆかりの三雲城址の場所に現存しない三雲城などを再現する拡張現実(AR)のアプリを活用し観光客の誘客および滞在時間の延長を図る。併せて特産品の開発なども行う。

実施主体：猿飛佐助実行委員会

事業期間：平成32年度

(3) 地域文化芸術活用事業

事業概要：カフェなどでアール・ブリュット作品の展示を行い、観光客の誘客および滞在時間の延長を図る。

実施主体：こにゃん支えあいプロジェクト推進協議会

事業期間：平成32年度

(4) 市の魅力・観光情報発信事業

事業概要：動画を活用した本市の魅力の広報・観光情報の発信を通じて観光客の誘客を図るとともに、市民による愛着や誇りの醸成につなげる。

実施主体：湖南省および湖南省観光協会

事業期間：平成32年度

(5) 観光・地域情報アプリ事業

事業概要：観光・地域情報アプリを開発し、市内に点在する観光資源をネットワーク化し、観光ルートの提案を行

うことにより、観光客の滞在時間の延長を図る。

実施主体：湖南省

事業期間：平成 32 年度

(6) 創業支援事業

事業概要：第 3 次産業を活性化による観光消費を増加を目指すため、市内の空き店舗のデータを利用し創業希望者とのマッチング等を行い、市内での創業者の増加を図る。

実施主体：湖南省商工会

事業期間：平成 32 年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成33年 3 月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

毎年度、3 月末時点の KPI の達成状況を地域創生推進課が取りまとめ、湖南省戦略茶話会において数値目標を基に事業の効果を検証するとともに、議会の関与も得ながら、必要に応じて湖南省総合戦略や今後の事業運営に反映する。

目標 1

湖南省観光入込客数（暦年）については、事業実施課が 3 月時点で各施設からの速報値の報告により把握する。

目標 2

湖南省観光消費額（直接分）については、事業実施課が 3 月時点で各施設からの速報値の報告により把握する。

目標 3

観光・地域情報アプリダウンロード数については、事業実施課が 3 月時点で把握する。

目標 4

十二坊温泉ゆらら利用客数については、事業実施課が 4 月時点で施設からの報告により把握する。

目標 5

十二坊温泉ゆらら売上総額については、事業実施課が 4 月時点で施設からの報告により把握する。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
湖南省観光入込客数(暦年)(人) ※拠点整備交付金	478,700 (H27年)	-28,700	0	40,000
湖南省観光入込客数(暦年)(人) ※推進交付金	536,100 (H28年)		43,900	60,000
湖南省観光消費額(直接分)(千円)	1,050,842 (H28年)		96,083	42,295
観光・地域情報アプリダウンロード数(件)	0 (H28年)		500	500
十二坊温泉ゆらら利用客(人)	147,000 (H27年度)	3,000	-10,000	20,000
十二坊温泉ゆらら売上総額(千円)	109,000 (H27年度)	3,000	-17,000	24,000

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
湖南省観光入込客数(暦年)(人) ※拠点整備交付金	10,000	10,000	31,300
湖南省観光入込客数(暦年)(人) ※推進交付金	60,000		163,900
湖南省観光消費額(直接分)(千円)	28,110	14,275	180,763

観光・地域情報アプリダウンロード数（件）	600	600	2,200
十二坊温泉ゆらら利用客（人）	10,000	5,000	28,000
十二坊温泉ゆらら売上総額（千円）	8,000	3,000	21,000

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

毎年度、湖南省戦略茶話会の結果をふまえて、湖南省ホームページで公表する。